令和７年度　やまがた社会貢献基金助成事業　活動報告書

団体名	よりみち文庫		
事業名	学校に行かない／行けないことを「生きづらさ」に直結させない地域社会の情報環境整備事業		
助成事業区分	協働助成事業（テーマ型） 【テーマ：イオン・さくらんぼ WAON　子どもの健全育成支援事業】		
団体の所在市町村	山形市	事業費	321,330 円
		うち助成金額	320,000 円
事業実施期間	令和７年７月１日～令和８年２月末日まで		

事業目的・実施内容

（事業目的）

「不登校」の年間児童生徒数が415,252人（2024年文科省調査）、本県でも「不登校」児童生徒数は2,339人（2023年）と過去最多を記録している。背景にはさまざまな事情があろうが、学校に行かないこと／行けないことがさまざまな圧力や差別を当人たちに追加的にもたらし「生きづらさ」を抱える者も多い。こどもの年間自殺者数が過去最多の527人（2024年厚労省調査）、本県の10代の自殺が8人（2023年）といった数値はその端的な現われとも考えられる。問題は、学校に行かない／行けないとなったときに「学校復帰」に代わる学びや育ちの選択肢が存在していることが当事者やその家族に十分には知られていないこと、さらにはそうした選択肢の量や質が地域によってはニーズに対しまだまだ不十分であることにある。学校に行かない／行けないということが「生きづらさ」につながらないような社会にしていかなくてはならない。本事業のねらいは、「不登校」という「生きづらさ」を構成する地域社会の側の課題――社会教育としての課題――にアプローチし、それらを解消することである。

（実施内容）

１）学校に行かない／行けない子どもたちとその家族の声（ニーズ）を可視化する
２）子どもの学び育つ権利を保障するべく活動しているさまざまな地域社会教育資源の存在を可視化する
３）上記の両者をつなぐ場＝メディアをつくる

県内４地域において、「「不登校」を考える対話キャラバンinやまがた」と称し、それぞれの地域で活動する親の会、支援団体、もと当事者などによるトークイベント＆ワークショップを、当事者とその家族、関係者を主たる対象に対面で開催した。

①庄内集会（9月13日、古今［鶴岡市］、トークゲスト：佐藤恵氏［明日のとびら］・渡邉敦氏［KIDS DOME SORAI］、参加者21名）
②最上集会（10月4日、une［最上町］、トークゲスト：Fred Lauer氏［Kamui Kids］・高橋扶紀氏［セラピーファームめごたま］、参加者21名）
③置賜集会（11月29日、旧長井小学校第一校舎［長井市］、トークゲスト：白石祥和氏［With優］・横地萌園氏［みちくさクラブ］、参加者40名）
④村山集会（1月31日、さくらんぼタントクルセンター［東根市］、トークゲスト：樋口愛子氏［クローバーの会@やまがた］・村山恵子氏［クリエイトひがしね］、参加者38名）

	※今後、イベント等で可視化された声を集約し、フリーペーパー等を制作する。「今後の展望」参照。



置賜集会（2025年11月29日、旧長井小第一校舎@長井市）のようす



村山集会（2026年1月31日、さくらんぼタントクルセンター@東根市）のようす

事業の成果	本事業を通じて、「不登校」問題にとりくむ各地の支援資源の存在に光が当たった。それによって、これまで孤立し孤独に苦しんでいた各地の当事者とその家族にケアやサポートを届けることができた。また、本事業を通じて、県内４地域のそれぞれにおいて、地域ごとの「不登校」関係者どうしの立場を超えた横のつながりが新たに生まれたとともに、地域をこえたネットワークが構築されることとなった。
今後の展望	今後、現在学校に行っていない子どもたちだけで集まり、その思いを語れるオンラインの場を設け、彼（女）らのニーズを拾う。イベントやワークショップで可視化された声を集約し、当事者自身による活動やそれを支えてくれる地域資源、県の相談窓口の情報、子どもの権利や教育機会確保法の考えかたなどを一覧できるフリーペーパー「〈不登校〉の歩きかた（仮）」（A2判、5,000部）ならびに特設のウェブページを制作、各地の活動現場に今後の支援のツールとして供給する。 本事業を通じて生成した「不登校」当事者とその家族、支援者、関係者のネットワークとその力を活用し、ますます増えていく「不登校」の子と親を支える社会環境の整備にとりくんでいく。具体的には、個々の活動や運動が孤立したり頓挫したりしないよう手助けする中間支援や、学校に行かない／行けない子どもたちの学びや育ちを支える新たな支援資源を地域社会に生み出す人材育成にとりくんでいく。



一箱古本市への出店のようす



読書会のようす



実践交流会のようす

団体概要

よりみち文庫
共同代表　滝口克典　小笠原千秋
URL
https://yorimichibunko.myportfolio.com/
よりみち文庫は、学びの場づくりとその中間支援にとりくんでいます。

令和７年度山形県ＮＰＯ活動促進補助事業

収支精算書

事業の名称	学校に行かない／行けないことを「生きづらさ」に直結させない地域社会の情報環境整備事業
団体名	よりみち文庫

１　収入の部

（単位：円）

区分	精算額	内容
県補助金	320,000	令和７年度山形県NPO活動促進補助金
当該事業による収入		
その他収入	48	ポイント付与分
自己資金	1,282	
合計	**321,330**	

２　支出の部

（単位:円）

区分	精算額	内容
謝金	120,000	トークイベント謝金＠15,000×8名（受取者：渡邊敦、佐藤恵、ラーワーフレデリックアイザック、髙橋扶紀、白石祥和、横地萌圓、樋口愛子、村山恵子）
旅費		
印刷製本費	60,000	イベントチラシ制作（A3判3,000枚）＠20,000 デザイン料 40,000円
消耗品･材料購入費	24,640	図書購入費＠24,640
通信運搬費	3,440	郵送費＠3,440
保険料		
使用料	17,250	会場費＠17,250
人件費	96,000	事務局人件費＠1,500×64時間
（委託費）		
（備品購入費）		
（修繕費）		
合計	321,330	